

第1回は名古屋市
地域ケア推進課担当からお伝えします。

名古屋市では、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進することを目的とした「在宅医療・介護連携推進事業」を名古屋市医師会に委託し実施しています。

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築のための対応策として、医療介護関係者の情報共有の支援のためのツールである「はち丸ネットワーク」を導入しています。

「はち丸ネットワーク」は、患者の同意に基づき、市内の病院・診療所・介護サービス事業所等多職種をネットワークで結び、参加者（患者）

の診療・介護情報等を共有し、本ネットワークを通じて、患者への迅速な対応、質の高い医療・介護サービスの提供を目指すものです。

今年度、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険のデータをはち丸ネットワークに登載するシステム改修を行います。当該データの登載により、緊急搬送時など患者の情報がいち早く医療機関に伝わることで、適切で迅速な治療につながるとともに、病院、かかりつけ医、ケアマネージャー等が早くから連携して、丁寧なサポートができる在宅医療・介護の提供体制の充実が図れるものと考えております。

改修後のシステム運用が開始されましたら改めて名古屋市医師会から周知させていただきます。関係者の方々、ぜひご活用ください。

各区はち丸在宅支援センターの連絡先

千種区 ☎052-732-0874	瑞穂区 ☎052-852-0874	名東区 ☎052-760-0874
東区 ☎052-933-0874	熱田区 ☎052-683-0874	天白区 ☎052-800-0874
北区 ☎052-982-0874	中川区 ☎052-354-0874	
西区 ☎052-561-0874	港区 ☎052-652-0874	
中村区 ☎052-481-0874	南区 ☎052-823-0874	
中区 ☎052-201-0874	守山区 ☎052-795-0874	
昭和区 ☎052-763-0874	緑区 ☎052-896-0874	



受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）午前9時～午後5時

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。

はち丸っとvol.9はいかがでしたでしょうか。はち丸っと次号は冬号となる予定です。はち丸在宅支援センターホームページでは、過去の研修会（令和2年度ACP—基礎編—、令和3年度ACP（概論編）、令和2年度・令和3年度・令和4年度在宅医療、令和2年度・令和3年度ガイドライン活用）動画を公開しています。こちらもぜひご覧ください。
<https://zaitakukaigo.nagoya/seminar>



ご意見募集

皆様のご意見や感想をお聞かせください。



はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

令和4年度名古屋市在宅医療・介護連携推進事業について

令和4年度の名古屋市在宅医療・介護連携推進事業をご紹介します。AからHの8事業を通じ、円滑な多職種連携、在宅医療の推進、そして市民が安心・安全な在宅療養生活を送れることを目指します。

A. 在宅療養に関する相談支援

市民を始め、多職種・関係機関からの在宅療養に関する相談に対応します。

B. 医療・介護資源の把握

各区の医療資源（訪問診療/往診、オンライン診療、病院の連携窓口等）を調査し、情報の把握・更新を行います。

C. 医療・介護関係者の情報共有の支援

はち丸ネットワークの普及啓発、活用の促進を行い、多職種による在宅療養者の情報共有を支援します。

D. 在宅医療・介護連携推進会議の開催

市内16各区において、地域の医療・介護多職種を構成員とした会議を開催します。会議では多職種連携およびかかりつけ医による在宅医療の提供に関する課題を抽出し、課題解決に向けた取り組みの検討を行います。課題及び対応策の検討については「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン～（以下、ガイドライン）」を活用し、抽出された課題は今後のガイドラインに反映します。

E. ガイドライン活用に係る研修会の開催

令和元年発行「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」を多職種に普及啓発し、現場での活用を進める研修会（WEB）を、市内16区で行います。

F. ACP研修会の開催（16区全体で実施）

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を普及啓発し、多職種による在宅療養者の意思決定支援の取り組みを進めるための研修会（WEB）を行います。

G. 在宅医療研修会の開催（16区全体で実施）

在宅医療を推進するため、在宅医療に興味がある、また、在宅医療への参画を検討している医師等を対象に研修会（WEB）を行います。※今年度、6月11日開催の在宅医療研修会は終了しています。

H. 在宅療養に関する普及啓発の実施

「名古屋市在宅医療・介護のしおり」、そしてしおりを元にした動画「いつまでも自分らしく生きるために」を用いて、市民を対象とした在宅療養・ACPIに関する普及啓発活動を行います。



●はち丸在宅支援センターホームページ
<https://zaitakukaigo.nagoya/kankei>



●まるはっちゅ〜ぶ 普及啓発動画「いつまでも自分らしく生きるために」
<https://www.youtube.com/watch?v=AJKKlv3hQ9Y>



在宅医療研修会、なごや在宅医療・介護連携ハンドブック活用研修会 (WEB)

名古屋市医師会では毎年度、在宅医療に関する研修会、そして多職種連携を進めるための研修会を行っています。本号では、令和3年度に市内全16区の医師そして多職種を対象に行った「在宅医療研修会」「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック活用研修会」、そして令和4年度に入って行った「在宅医療研修会」について、ご報告します。

令和3年度

在宅医療研修会 (参加者数：152)
 令和4年1月22日 (土) 14:00-15:00 WEB開催

「コロナ禍の在宅医療～地域医療の現場から～」をテーマとして、亀井克典先生（医療法人生寿会）に実際の事例を交えたお話をいただきました。中でも「コロナ禍の在宅医療の実例と課題」に最も高い関心が集まり、「新型コロナ治療薬について」「第6波への対策」「在宅医療・ケアにおける感染対策」がそれに続きました。（アンケート結果より）

常にリスクが伴う現場の緊迫した状況下、在宅の療養者にどのような支援が必要か、どのような医療提供体制が課題となるのか、貴重な問題提起もありました。これに対しては、参加の多職種からも「在宅医療と保健センターの協力をもっと進めていきたいと思った」「事例により、これからコロナに直面するかもしれない患者と向き合う心構えとなった」、「現場がこれほどとは思わなかった。在宅看護に携わる者として課題の分析と次の取組みをしっかりと考えて行こうと思った」等、フィードバックがあり、今後の対応へとつながる有意義な研修会となりました。

令和4年度

在宅医療研修会 (参加者数：89)
 令和4年6月11日 (土) 14:00-15:00 WEB開催

テーマを「在宅訪問診療 点数のポイント」とし、清水達郎氏（株式会社スズケン）に今年度の診療報酬改定を含めた説明をしていただきました。在宅医療をこれから始める方への手引きに始まり、在宅医療にかかる診療報酬について網羅した解説がされ、参加者からは「分かりやすい資料と説明が丁寧で分かりやすかった」「資料が充実していた」「社内研修で活用できる」などのご意見がありました。参加した医療機関では「現在訪問診療を行っている」が最多でしたが、次いで「現在は行っていないが今後行いたい」が多くなっており、在宅医療の裾野が広がる事に期待が持てました。



令和3年度

なごや在宅医療・介護連携ハンドブック活用研修会 (参加者数：160)
 令和4年3月19日 (土) 14:00-15:00 WEB開催

令和3年度は、「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」の中でも「意思決定支援」に焦点を当てて研修会を開催し、講師の小林哲朗氏（愛知県医療ソーシャルワーカー協会/名城病院）に、「療養者の意思決定を支援する多職種連携～事例から学ぶ連携のポイント～」をお話いただきました。

多職種で在宅移行支援を行った実際の事例で、療養者本人と小林氏の心の動き、言葉かけ、そして支援の経過について丁寧な説明がされました。なかなか知る事のない実際のコミュニケーション場面、意思決定支援のプロセスについて学ぶ貴重な機会となり、参加者からも「意思決定支援のお手本を学べた」「声かけのタイミングの参考になった」という声をいただきました。

参加人数は160人、職種別では、薬剤師・ケアマネジャー・看護師の順に多くの参加がありました。



はち丸在宅支援センターのホームページからダウンロードできます。

ハンドブックについては「本研修会で初めて知った」人が約半数を占め、「ハンドブックがあることを知り大変有意義だった」「活用研修会をもっと短いスパンで続けてほしい」という声もいただき、普及啓発を続けていく必要があることがわかりました。

研修会の動画・資料・アンケート結果について、ホームページでご覧いただくことができます。

今年度下半期に、市内16区で「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」の活用研修会を開催します。日程等は、はち丸在宅支援センターのホームページで順次お知らせします。
<https://zaitakukaigo.nagoya/seminar>

